

第27回・令和6年度 全視連功労者 功績概要

		氏名	功績概要
1	山形県	折原 由美子 おりはら ゆみこ	昭和47年、公立小学校に奉職。平成12年から現在まで24年間にわたり自作した紙芝居を視聴覚教材として積極的に活用し、幼稚園や学校、高齢者施設等で上演するなどの社会教育活動を行ってきた。その作品は、郷土の歴史・文化をテーマにしたものが多く、地域での丁寧な取材により的確に構成された作品は、全国自作視聴覚教材コンクールにおいても高い評価を受けている。平成29年からは「山形紙芝居研究会」を設立して代表を務め、山形県立図書館「紙芝居の広場」等での実演による視聴覚教材の活用により子供たちや住民の学びを深め、郷土愛の醸成に寄与している。
2	茨城県	益子 直之 ましこ なおゆき	平成26年4月から4年間大子町教育委員会指導主事として勤務し、町のICT活用の充実や施設・備品の改善に尽力した。平成30年から6年間は、茨城県視聴覚教育振興会役員・茨城県視聴覚教育ボランティア委員として入会し、各種研修会の運営に携わり、学校教育及び社会教育の指導者育成に尽力した。また、毎年、自作教材発表会を企画運営し、児童生徒や教員、その他地域で活躍する人たちの情報共有やレベルアップに貢献した。茨城県視聴覚教育ボランティア委員として、県生涯学習課企画の映画、放送、ビデオ、コンピューター、デジタル写真等の活用に係る研修会での指導・助言等にボランティアとして協力している。
3	群馬県	山口 廣 やまぐち ひろし	昭和56年に公立学校教員として奉職、すぐに16ミリ映写操作技術の認定を受け、学校で16ミリ映画などを上映するなど、技術を生かした教育活動を行った。生涯学習センターでは展示物を視聴覚機材を活用した体験型科学展示にし、県民に視聴覚の有効性を紹介した。また、同センターのWebページを開設し公開することで、生涯学習センターの取組やイベントの開催について広く県民に伝えることに貢献した。平成14年から8年間、群馬県公立学校・教頭在任中は情報教育部会副会長として、情報教育の普及に努めるとともに、村民パソコン講座の講師として、デジタルカメラを使ったプレゼンテーションづくりを指導し、村民の情報技術向上に貢献した。
4	岐阜県	佐藤 光司 さとう こうじ	昭和43年に国鉄中津川駅に就職し、入社後先輩から社会教育を指導され16ミリ映写機の取り扱いをはじめ、写真撮影・スライド等を趣味にしていた。平成3年に中津川市議会議員選挙に当選（2期目）したことを機会に「中津川視聴覚クラブ」に入会して以降、現在まで33年間にわたり、福祉関係の施設や子供会活動にも参加し、夏休みの「子供映画会」などに協力するなど、精力的に活動して、現在は会長として活動している。その間、クラブの仲間と共に、福祉施設・老人ホーム等でボランティア活動などを行ってきた。平成19年2月、岐阜県教育委員会教育長表彰を受賞。
5	愛知県	谷 知令 たに ともりの	昭和58年、一宮市内で教育映画などの製作・配給を行っていた中部日本教映株式会社にて就職。以来41年間、同社にて教育映画の配給・販売に取り組み、交通安全や防災用のVHS・DVDの普及にも力を入れ、近年は上映用のDVD・ブルーレイの販売にも注力している。出張映写も行っており、市民会館での映画上映も請け負ってきた。また、個人として16ミリフィルムの技術者組織「一宮市AV技術者の会」に所属し、会員として、公民館での巡回映画会や子ども会・老人会等の依頼を受けた上映会を実施するなど、公私ともに地域の視聴覚教育の普及・発展に大いに貢献している。平成7年には同社の代表取締役役に就任。